

草間村文書

(採訪時住所 愛知県豊橋市草間町)

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	整理番号
1	1 寛延 2	1749	己巳		9	3	諸願書下 三冊之内	草間村 安五郎		縦帳	1	「第三」とあり、三分冊のうちの3冊目か。裏表紙に「渥美郡草間村兵藤安五郎」とあり	16 2
1	2 寛延 3	1750	午		6		諸願書下 三冊之内	草間村 安五郎		横帳	1	嘉永8年卯正月写。裏表紙「渥美郡草間村兵藤安五郎」とあり、同人は庄屋	16 1
2	嘉永 5	1852	子		12		御検見割会町分覚帳	草間村 兵藤氏 安治良		横半	1		13
3	嘉永 6	1853	丑		3		宗旨御改惣人別妻并宗旨訳帳	三河国渥美郡 草間村		縦帳	19枚		17
4	嘉永 7	1854	寅		11		相続講仕様	草間村讓主 忠五郎㊦、取持平五郎㊦、組頭 忠衛門㊦、他11名		縦帳	1		15
5	万延 2	1860	酉		1		送り一札之事(勇助養子縁組一件につき村送り状)	同村庄屋 安五郎㊦	牟呂村 御庄屋中	縦紙	1		1
6	万延 2	1860	酉		2		送り一札之事(伝助娘とも、友吉へ嫁入一件につき村送り状)	野田村 願主 伝助㊦、右村庄屋 権右衛門	芦原新田 御庄屋中	縦紙	1		2
7	文久 1	1861	酉		12		借用仕候金子證文之事(金20両借用、利息年1割1分につき)	草間村 長百姓 甚之助㊦、同断 兵左衛門㊦、組頭 忠右衛門㊦、庄屋 安五郎㊦、他2名		縦紙	1	割印。裏書	3
8	文久 1	1861	酉		12		借用仕候金子證文之事(金10両借用、利息年1割につき)	草間村庄屋 借り主 安五郎㊦、太七㊦、甚之助㊦	大山組 彦三郎殿	縦紙	1	済文書カ	4
9	文久 2	1862	戌		2		宗旨請一札之事(村送り状雛形)	中牟呂願主 常次郎、右村庄屋 半右衛門㊦	草間村 御庄屋中	縦紙	1		5

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	整理番号
10	文久 3	1863	亥		2		宗旨送一札之事(助五郎娘きやう,庄助妻に縁組につき村送り状)	北大津 願主 助五郎㊦,右村庄屋 助吉㊦	草間村 御庄屋中	縦紙	1		6
11	慶応 4	1868	辰		2		宗門送一札(飯村惣三郎娘きやう縁組につき)	小松原山 東観音寺㊦	吉田 浄圓寺	縦紙	1		14
12			酉		3		(金子受取覚綴)			綴	8		7
12	1		丑		2	25	覚(深川社三ヶ年割,1両1分4朱受取につき)	年番 取持庄屋㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1	割印	7 1
12	2		丑		7	10	覚(盆前諸入用と遊行様人馬割,1両2分と404文受取につき)	年番 上牟路分 庄屋七蔵㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1		7 2
12	3		丑		7	10	覚(盆前諸入用と臨時入用割,1両1分と536文受取につき)	助郷 惣代庄屋㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1		7 3
12	4		丑		7	3	覚(入用金,1分2朱と664文受取につき)	草間村 庄屋 孫六㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1		7 4
12	5		寅 閏		7	26	覚(御蔵諸入用割,1分と276文受取につき)	御蔵年番 中牟呂村庄屋 惣兵衛㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1		7 5
12	6		寅		7		覚(盆前諸入用割合,1分2朱と670文受取につき)	年番小浜村庄屋 藤治郎㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1		7 6
12	7		丑		8	25	覚(御蔵諸入用金,2朱と622文受取につき)	年番 小浜庄屋 藤次郎㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1		7 7
12	8		寅				覚(盆前諸入用割合,1両2朱と759文受取につき)	助郷 惣代 西柳田村庄屋 次右衛門㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1		7 8

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	整理番号
13			丑		5	2	(金子受取覚綴)	芦原新田 庄屋 六三郎㊦, 他2名	草間村 御庄屋中	綴	3		8
13	1		丑		5	2	覚(金子1両2朱と357文受取につき)	芦原新田 庄屋 六三郎㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1		8 1
13	2		丑		7	2	覚(一ノ宮割合,970文受取につき)		草間村 御庄屋中	切紙	1		8 2
13	3				6	12	覚(人足残割返し,1両2朱と419文受取につき)	助郷 惣代㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1		8 3
14			寅		4		(金子受取覚綴)	組合 會所㊦他	草間村 御庄屋中	綴	7		9
14	1		寅		4		覚(組合御節句割,1両2朱と422文受取につき)	組合 會所㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1		9 1
14	2		寅		7	6	覚(組合盆割,1両2朱と449文受取につき)	組合 會所㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1		9 2
14	3		寅		8	29	覚(御口口割,1両2朱と471文受取につき)	組合 會所㊦	草間村 御庄屋御中	切紙	1		9 3
14	4				10	17	覚(吉田宿講掛金,3両と960文受取につき)	組合 會所㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1		9 4
14	5		寅		12	16	覚(深川講掛金,1分と383文受取につき)	組合 會所㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1		9 5
14	6		寅		12		覚(組合歳末金割,2分と437文受取につき)	組合 會所㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1		9 6

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	整理番号
14	7				11	18	覚(相続講掛金,4両2朱と165文受取につき)	高足村 會所㊦	草間村 御庄屋中様	切紙	1		9 7
15			寅		4	29	(金子受取覚綴)	助郷 惣代㊦他	草間村 御庄屋中外	綴	3		10
15	1		寅		4	29	覚(□□人馬不足金,3両3分と590文受取につき)	助郷 惣代㊦	草間村 御庄屋中	切紙	1		10 1
15	2		寅		6		覚(金2朱,当年麦作請納につき)	権蔵㊦	草間村 御役人中様	切紙	1	作成者印文(「三州吉田青大権蔵」)	10 2
15	3		寅		11		覚(金2朱,当年秋作請納につき)	権蔵㊦	草間村 御役人中様	切継紙	1	作成者印文(「三州吉田青大権蔵」)	10 3
16			酉		6	6	乍恐御注進奉申上候口上之覚(当村の者28人,伊勢参宮につき出船届)	草間村 庄屋 安五郎㊦	木村甚助様, 川村柳助様, 内藤半助様	縦紙	1		11
17							送り一札之事(村送り状雛形)	何村 願主 誰印	野田村 御役人中	縦紙	1		12
18							(茶封筒)			封筒	1	愛知県三河渥美郡草間村□□ 28箱 断簡	18

解題 草間村文書

－史料の概要と特色－

採訪時期は分かっていない。昭和 26（1951）年 8 月に事業を主導した宇野脩平と速水融の 2 名の調査員が、渥美郡周辺の採訪を行っており、あるいはその際の可能性はある。

史料の総点数は 36 点で、最も古いものが寛延 2（1749）年、最も新しいものが慶應 4（1868）年である。

概ね三河国渥美郡草間村で庄屋を努めた兵藤家に伝来したものと考えられ、「兵藤家文書」と名付けるべきであるかもしれない。内容は村同士のやりとりを示す「宗旨請け一札」「送り一札事（勇助養子縁組一件につき村送り状）」などで占められており、村政の概要を知るための検地帳・宗門改帳・村明細帳等が見当たらない。なお、渥美郡草間村は近世期には吉田藩領で、「旧高旧領取調帳」では 1,020 石、藩の御林があり山守が置かれていた。さらに、二川宿の助郷役が課されており、本史料群にも関連する史料が数点見える（目録番号 12-2、12-3、12-8、13-3、15-1）。

（文責 越智信也）